



Shobara Silver

庄原シルバー

会報
新春号
2022.1



会員スローガン

明るく 楽しく 元気よく

今日も一日社会貢献

新年の挨拶	2
寅年の抱負	4
互助会だより	6
安全委員会	7
事務局だより	8
庄原の昔話	9

新年あけましておめでとうございます

本年も庄原市シルバー人材センターをよろしく願いいたします。

超高齢社会にチャレンジする

シルバー人材センターの決意と役割

庄原市シルバー人材センター

理事長 田村 富夫



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

超高齢人口減少社会がすすみ、誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現が求められています。我が国の高齢化率は28・7%、庄原市の高齢化率は43・8%と全国平均をかなり上回る、先陣を切つてすすむ超高齢社会です。私の住む西城は思ってもみない、高齢者が半数を超えて基準では限界集落の域にあるのだと知りました。そんな中で、人生100年時代における高齢者の生き方や周囲の支え方について語られることが多くなりました。団塊の世代である私も、寄せてくる年波を心底実感し、そうした記事に目を止めます。

高齢者が健康長寿を願望するのは誰しもですが、老いの現実を厳しく、高齢者もしつかりと生きる強い覚悟があるのだと言います。老いにとまなう孤独を受け入れ、しだいに心身の衰えが目に見えてすすみ、脆さや弱さを抱えて病みわずらい、やがて歩行や日常生活の能力も低下し、記憶も失って、お風呂にもトイレにも一人では行けなくなる。こうした、かなり長い苛酷な晩年を家族や地域、医療・介護・福祉などの職域の多くの人々の世話になつて過ごさなくてはならない100

年人生の現実がそう語らせているのだと思います。

行政や社協などによる元気で長生きするための介護予防・健康づくりが、栄養・運動・社会参加を柱に取り組みまれています。なかでも社会とのつながりを失うことがフレイル（虚弱）の最初の入口なのだと指摘もあります。また一人暮らし・高齢夫婦だけの世帯も急増し、見守りや閉じこもり・孤立の防止など、地域で安心して老い暮らせる地域づくりも盛んに始められています。「庄原市内の『集まりの場』ガイドブック」（庄原市社会福祉協議会）には、実に278もの小地域高齢者サロンなどが、地域で支え合うきっかけになる場として紹介されています。

こうした取り組みは大変重要なことですが、肝心なことはまず高齢者自らが気づき、老いの坂道を健やかに過ごすための心がけが大切になっていくといえます。庄原版終活ノートである冊子「いきかたノート」私からあなたへ」（庄原市地域ケア推進会議）には、人生の終末を迎えるための「終活」だけでなく、「私たちはどう生き、自分の人生をどう終えるか」を問う、老い支度の「老活」とも言うべき人生最後のあり方が語られ、いつまでも自分らしく生きる新しい老いのかたちが求められています。

幸いにして、私たちの先輩たちは、高齢者が「生きがい就業」という形で働けるうちは働いて、地域社会に貢献し、いつまでも元気な高齢者として、次世代を支え、地域社会の活性化に資する仕組みを残してくれました。これからのより良い超高齢社会を創っていく切り札になるものと確信します。

新春にあたり、超高齢社会の主役である高齢者の元気を支える健康と気力を生み出し、地域で生きがいをもって活躍できる役割と場所を提供してくれるシルバー人材センターのことを、より多くの皆様に知っていただきたいと思いを強くしています。

本年もどうぞよろしく願います。

庄原市長

木山 耕三



そうした中であつて、庄原市シルバー人材センターが担われる就業の場づくりは、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進など、地域福祉の向上と地域社会の発展に資するものであり、ひとえに会員、関係者の皆様の熱意とご尽力の賜物であると、深く敬意を表する次第でございます。

一昨年以來、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、新たな変異株による不安が広がるなど、その収束が見通せない状況ではあり

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお慶びを申し上げます。

旧年中は、市政に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、高齢化率が4割を超える本市におきましては、昨年度「高齢者の自立と安心を支えるまちの実現」を基本目標として、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、「第8期庄原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、高齢者が活躍できる仕組みづくりをはじめ、各種施策の推進をいたしているところでございます。



庄原市議会議長

近藤 久子

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より庄原市議会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

庄原市シルバー人材センターにおかれましては、今日まで一貫して高齢者に生きがいと就業機会を提供され、地域社会の発展と地域福祉の向上にご尽力いただくとともに、大きな成果を上げておられることに対し、改めて敬意を表する次第であります。

一昨年より全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、国内において、ワクチン接種の推進や緊急事態宣言下での移動自粛、各事業所での感染拡大防止対策などが功を奏し、昨年10月以降、感染者が減少し、少しずつ落ち着きを見せております。とはいえ、世界的には、依然、その終息を迎えるまでには至っていない状態と言わざるを得ません。そのような中において、国は3回目のワクチン接種の決定や、GOTOトラベルの再開を計画するなど、日常生活や経済の復興に向けた様々な取り組みを推進しており、少し

ますが、感染防止対策を徹底し、就業やボランティア活動などを通じて地域社会に貢献される姿は、元気で活力ある地域づくりを促進するものであり、大変心強く思う次第でございます。

市といたしましても、会員の皆様方が、地域を支える原動力として活躍いただくとともに、日々の生活をいきいきと暮らしていただけるまちづくりの推進に努めてまいりたいと考えております。

結びに、本年もより一層のご支援ご協力をいただきますようお願いを申し上げますとともに、庄原市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

ずつではあります国内の動きが活発化してきております。私たち一人一人も、これまでと同様、一日でも早い日常生活を取り戻すため、感染拡大防止に取り組んでまいりたいと思っております。

さて、市内に目を向けてみますと、既に高齢化率が44%に達する勢いで、超高齢社会を迎えている現状であります。

その中で、高齢者が、生き生きと元気で生活ができ、その豊富な経験と知識を地域社会に還元し、地域活動への参画や就労で活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することは、緊急かつ最優先の課題と考えます。

高齢者が活躍できる社会の構築において、多様なニーズの受け皿として、貴センターの担われる役割は、ますます重要なものとなっております。

今後とも、会員増加の取り組みをさらに強めていただくとともに、高齢者の雇用対策及び就労支援の拠点として、健康長寿のまちづくりの一翼を担っていただきますよう、大いに期待するものであります。

本市議会は、昨年4月の市議會議員選挙を受け、新たな4年間をスタートさせました。引き続き、市民の負託に応えられる議会としてしっかりと議論を重ねながら、市民生活の向上はもとより、高齢者福祉の充実に一層の努力を傾注してまいりたい所存でございます。

新たな年を迎え、庄原市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご多幸、ご活躍を心よりご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

「年 男」



永山 光興（庄原）

市を退職後、職安の紹介で三次職業訓練所の緑化メンテナンスで剪定を受講することができました。期間は、9月から12月（週2日）の4カ月にわたる研修でした。

受講者は、退職者ばかりで色んな職業の経験者で剪定を経験されている方も初めての方もいて楽しく受講することができました。

終了後シルバー人材センターの榎平局長（当時）に誘われて入会させていただきました。当初は、草刈・草寄せ等の作業でしたが、そのうちに剪定班に入れていただき、上野公園のさつき・市道の植込み・街路樹・一般家庭の庭木の剪定等多くの先輩たちの優しい指導で楽しく作業をすることができました。（5年前から体調不良で休業中）

また、数年前から会員互助会の役員を仰せつかり、長寿会員表彰祝賀会（米寿・喜寿）・新年互礼会また、研修・親睦旅行・同好会活動（グラウンドゴルフ・カラオケ）



「明日も一日社会貢献」

中村 勅

たけし
（庄原）

シルバー人材センターには、七十八歳で入会して六年目となりました。

先輩会員から叱られながら要領を教えて貰い一年目は草取り。二年目は集草・集積・時々草刈り。三年目の春先に自宅の庭木の根掘り作業後に血尿がでたため、手術・入院。退院後、三年間自宅で静養しました。六年目の令和三年春から、半日作業を再

ケ・パソコン・しめ飾り作り・園芸・手仕事）など楽しく参加することができたのは、会員の皆様のご理解とご協力があったことからです。

7回目の年男八十四歳、終戦の年4月に尋常小学校へ入学頃から思えば、遠くへ来たもんだ。

八月の夏休み中に原子爆弾による火傷の多くの兵隊さんが、汽車から降りて荷車・リヤカー・戸板の担架等で小学校へ運びこまれた。第2校舎、第3校舎が臨時野戦病院になり学校は休みとなりました。板の上に横たわっているその姿は、全身焼け爛れた傷口から蛆虫が湧いていたのも記憶に残って、今でも忘れることができません。悲惨な戦争は絶対にしてはいけない。平和な暮らしあることを願いながら、これからも健康で暮らせるよう頑張ります。多くの皆さんに支えられて感謝して居ります。ありがとうございます。

開し、集草・集積と剪定枝の集積・積枝をさせて貰っています。

人生100年時代を迎えて、年々衰える体力気力と付き合いなから「持続可能な開発目標」の一つとして「家庭ごみの分別」に努め、バス会社員OBとして、子供の交通安全啓発ボランティア活動なども続けたいと思っています。

寅年の抱負

「職 場」



奥山 敏和（高野）

私は四十二年間備北交通の乗務員として無事定年退職することができました。

今後の職場就活をどうしようかと考えていました。たまたま行きつけの町内の食堂で酒を飲みながらくつろいでいた時、社会福祉の職員さんと一緒になり話をしていると、誰か働く人を募集しようかと人探しをされていると聞き、丁度自分も仕事をどうしようかと考えていた時だったので、私ではどうですかということと、即決定をして頂いて現在のたかの温泉神之瀬の湯の受付・清掃でシルバーの会員として十年勤務しています。

過去を振り返ってみると、最初の頃は温泉に入りに来る人がわずかだったと思

います。しかし、尾道と松江を結ぶ高速道路が開通してからは何倍もお客様が増え、多い時には何百人という時もありました。この仕事は、夏場は涼しく冬には温かい室内の中での仕事で又、色々な人達と出会い交流が出来て満足して働かせてもらっています。ここ二年間は、コロナの関係でお客様は減っていますが、これからも人と人の絆・交流を大切にしたいと思っています。この仕事を紹介して下さった人に感謝しています。最後に、この温泉はとてもしつよい湯です。是非、一度お越し下さい。

「健康に感謝」



角谷 一二美（高野）

定年退職後、友達の誘いでシルバー人材センターに入会して11年経過しました。

最初の仕事は、社会福祉協議会の支援弁当の配食でした。高齢者の方へ、声掛けをし、安否確認ができ意義のある楽しい仕事でした。

2年経過した頃、社会福祉協議会の非常勤として昨年の7月末迄勤めました。その間、シルバーセンターの開催された障子張り、網戸張りの研修に参加し勉強になりました。

今から6年前に体調を崩しあまり活動

ができなくなり、健康のありがたみを痛感しています。現在は、公共施設のトイレ清掃をしています。健康であった頃は、障子張り、墓掃除等の依頼を受け依頼者から大変喜んで頂いていたことを思い出します。今は、シルバーでの社会奉仕活動に参加しています。体調の許す限り、健康に気を付けて頑張ります。

現在、コロナ禍で大変厳しい状況です。高齢者の多い今日、シルバー人材センターは地域にとって不可欠です。一日も早く、新型コロナウイルス感染が収束することを願います。



「感謝と楽しみの日々を」

長尾 充久（西城）

四〇年近く務めた職を離れUターン（ほとんど毎週のように西城へ帰っていたのでUターン？）後、シルバー人材センターに入会させていただき草刈り・除雪などを中心に活動してまいりました。前職場の会是に「信用・奉仕・創造」の三つが掲げてありました。人材センターの理念と多少は共通している部分があるように感じます。

入会後は一緒に草刈りなどの仕事をされる先輩から沢山のノウハウを教えてくださいながら初心に還って楽しく働かせていただきました。また、失敗も沢山してまいりました。



「宿ば都」

杠 角雄（比和）

シルバー人材センター会員の皆様寅年の杠です。（本当は子猫かな？）

会員になって11年。月日の過ぎるのは早いもので可もなく不可もなく淡々と時は流れていきました。少しは何かの役にたてたのかな？

最近特に感じるのですが70歳を過ぎた頃から身と心の *matching* が…皆さんはどうですか？私はずもともとハウス農家でトマト・パプリカを栽培しておりますので、なかなかシルバーの仕事との兼合いが噛み合わず迷惑をかけているのが現状です。何んと言っても健康が第一！恩師

この度、年男ということと「寅年の抱負」を寄稿するよう要請され、既に古来稀な年を過ぎていることに今更ながら気づきました。退職後、大病を患いましたが幸いにも現代医学とお医者様のおかげで社会復帰ができました。ひたすら感謝感謝です。

今年干支では壬寅、「壬寅」は冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるというイメージがあるらしいです。これから多くの方々へ感謝しつつ、健康に留意しながら皆さんと楽しい日々を過ごしたいものです。

の言葉で【人生登り坂・下り坂・まさか！】怖いですね。お互い気を付けて働きましょう。

中国山地の山の中、なーにもないけど、わしも寅、女房も寅、内乱も少々有りますが住めば都、俺ん家がいいな。

仲間と手を取り合い一日でも長くこの地で暮らしていきたいと思えます。頑張るぞ！人生一日一生…私の独り言



Shobara Silver 2022



「仕事の喜び」

和田 博志（庄原）

シルバー人材センターに入会して10年になります。説明会に参加させて頂き後日連絡があり、草刈り班に入りよき先輩方のご指導を頂きました。また草刈機の点検・刃研ぎから、刈り方等、いろいろと教わりました。仕事への依頼については現場を十分把握することが第一です。畦畔・道路法面・家の周り・原野等いろいろです。作業が完了し、「ようだったのお。」また、頼んだら来てくれのお。」と言われ、夏の午後、疲れも忘れず。又休憩の時はみんなで色々と懇親を深めます。同好会にも参加させて頂き感謝で一杯です。ある年7月に草刈り班・集草班で松江自動車道経由し出雲大社参拝、

一畑薬師観光、松江市の皆美食堂で会食し親睦を図りみんな楽しい一日になりました。また、同好会の小旅行で岡山県のベンガラの里、吹屋散策で広兼邸とその石積を駐車場から拝見しその雄大さに感動しました。今はコロナで親睦会や旅行は中止ですが徐々に終息に近づいています。会員の皆様方と会えることを楽しみにしております。今年で84歳となりますが、米作り野菜作りに精を出しておりますが『年を重ね体力の衰えを嘆くよりそれを受け止めて進みたいと思います』朝に希望、昼に努力、夜に感謝と反省で無理をせず残れば明日と言う気持ちで頑張りたいと思います。



「地域の皆様に感謝して」

吉村 寿架（東城）

寅年の会員にとの話があり満七十二才になる本年は、「夫れ木をうえ候には大風吹き候へどもつよきすけをかひぬればたうれず、本より生いて候木なれども根の弱きはたうれぬ、甲斐無き者なれどもたすくる者強ければたうれず、」とあります。

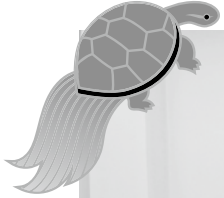
私事ですが戦後開拓地に入植した両親の元に誕生し、母は中学2年生の時に死、事業の廃業後、菓子、建設業、地方公務員を40年間勤め退職後、定年後の生活を「余生」と考え

るところを、地域、社会の皆さんに「与生」とならないものかとシルバー人材センターの世話になり、私を育んでくださった地域に少しでも役に立てばと、微力ながらと思いい、シルバで紹介される事以外にも仕事（おどう園）があり思うように参加できません。今後は少しでも時間を作り健康に気を付け「もう一歩」と前向きに、感謝の気持ち忘れずと思っております。ご指導をよろしくお願ひします。

互助会 だより

祝 米寿・喜寿

新型コロナウイルス感染症はなかなか収まりそうもなく、今年も長寿祝賀会及び新年互礼会は2年続けて中止となりましたが、互助会規約では会員が規約に該当すれば祝金に応じた金品で別掲25名の皆さんを祝うこととなっていますので、1月7日に本所で米寿、喜寿の代表4名の会員さんに出席いただき、小瀧会長より表彰状・記念品が贈られお祝いいました。



祝 米寿

本郷	万明	(庄原)
清光	正人	(庄原)
楨原	忠博	(庄原)
石原	智恵子	(庄原)
加筑	益宏	(庄原)
久森	信子	(西城)
安井	睦彦	(比和)

祝 喜寿

山口	琴江	(庄原)	見高	徹政	(東城)
垣智	加子	(庄原)	松浦	康郎	(東城)
高口	千積	(庄原)	柳原	茂	(高野)
上野	昭一	(庄原)	滝谷	滋	(高野)
中前	千鳥	(庄原)	吉山	清	(高野)
住田	悦子	(西城)	竹林	芳郎	(高野)
荒木	幸夫	(西城)	草谷	勝	(高野)
主田	初美	(西城)	垣内	ハツノ	(比和)
原田	隆祥	(東城)	稲里	光枝	(比和)



園芸

園芸椎茸部会では今年も植菌済み椎茸のほだ木を販売することになりました。今年で3年目ですがどんどん生えていると好評です。

椎茸ほだ木販売

期 日 令和4年4月3日(日) 9:00より

場 所 シルバー人材センター特設会場

1本 1,000円

※来場されれば自分で選んで積み込んでください



しめ縄・門松

12月20～28日の9日間、シルバー人材センター本所特設テントにて毎年恒例のしめ飾り販売を行いました。今年も多くの方々にご来場いただき大盛況でした。

又、門松同好会の会員さんにより、シルバー人材センター本所と庄原市役所本庁舎へ立派な門松を設置していただきました。



安全委員会

事故発生状況

令和3年度の庄原市シルバー人材センターでは下記のような事故が発生いたしました。

傷害事故、物損事故とも草刈作業中に多く発生しています。現場では周囲の状況を確認し、飛散防止対策や自身に対する安全対策をお願いします。

また、不注意や操作ミスなどによる事故も見受けられますので、作業時は十分に注意をしてください。

事故を減らすためには、現場で就業している会員一人ひとりが、安全について自らのこととして意識して考え、実践することが重要です。

職種	種別	年齢	性別	概要
草刈	物損	71	男	草刈作業中、小石を飛散させて駐車場に停めてあった自動車の運転席窓ガラスを破損させた。
運転	物損	77	男	マイクロバスに児童を乗車させるため、玄関付近まで後退中、駐車場に停めてあった自動車に衝突し、相手車両の前方部を破損させた。
草刈	物損	70	男	草刈作業中、小石を飛散させ駐車中の自動車の窓ガラスを破損させた。
草刈	傷害	78	男	市道法面の草刈作業中、ロックガード金網に接触し破片が飛散し自分の足（踝付近）に刺さり負傷した。
草刈	物損	67	男	アスファルトの隙間から生えている草を取り除こうと刈払機にナイロンコードを付けて作業をし、道路脇に停車中の自動車のサイドガラスを破損させた。
掃除	傷害	67	女	露天風呂を掃除中、左肘あたりをスズメバチに刺され負傷した。
撤去	物損	67	男	2tダンプを運転中、狭い三岐路で右折した時ダンプの運転席側側面をコンクリート壁と接触させ、燃料タンクに擦り傷や泥除け等破損させた。
草刈	物損	77	男	ロータリーモアを軽トラックへ積み込み中、操作を誤って荷台で刈刃を回し軽トラックを破損させた。
草刈	傷害	85	男	草刈り作業中、木くずが飛散しメガネの間から目に入り負傷した。
草刈	傷害	65	男	草刈り作業中、水路を跨ごうとして足を滑らせ転落。水路コンクリート壁で腹部を強打し肋骨を骨折した。
洗濯	傷害	62	女	工場内を徒歩で移動中、緩やかな下り坂で左足を捻挫した。
草刈	傷害	70	男	草刈作業中で道路脇側壁上面を横向きで移動中、側壁の切れ目に気付かず1.5m下の道路に滑り落ち、右足踵を複雑骨折した。



10月16日(土)に「全国一斉社会奉仕活動」を実施しました。

シルバー人材センターでは、日頃からセンターを支援していただいている地域住民や市行政への感謝と、センターの普及啓発を図ることを目的とし、ボランティア活動(公共的施設での剪定・草払い・草取り・清掃作業など)を毎年実施しています。

当日は7地域で136名の会員に参加頂きました。

地区名	活動場所	参加会員数
庄原	上野池周辺	47人
西城	西城夢公園	22人
東城	庄原市役所東城支所敷地及び支所前街路	30人
口和	口和福祉村	10人
高野	高野地域福祉センター敷地等	11人
比和	いざなみ工房敷地	12人
総領	亀谷自治会館敷地	4人

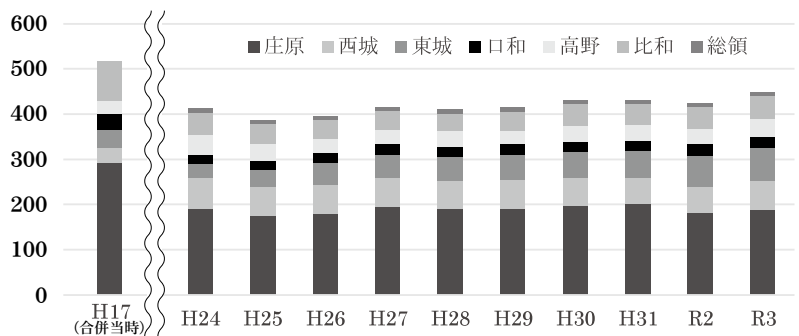


仁井 美夏
(西城支所長)

新任のあいさつ
今年1月1日より採用して頂きました。不慣れな事が多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、明るく元気に頑張りますが、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

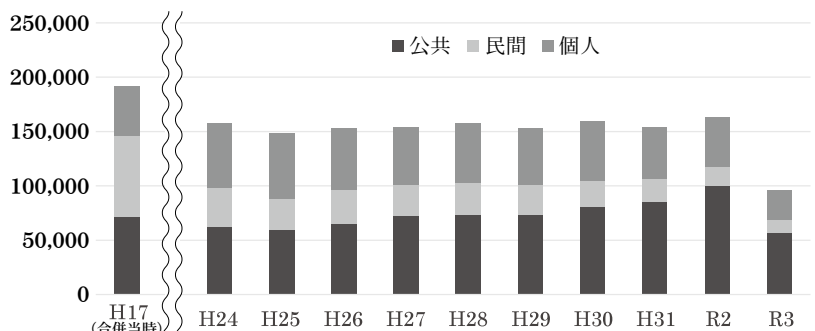
会員の推移(年度別) (単位:人)

会員数は、平成25年度まで減少していましたが、以降は微増、平成30年以降は微減の傾向にあります。令和3年度は9月末の会員数です。



受託事業実績の推移(年度別) (単位:千円)

受託事業は、平成25年度以降概ね1億5千万円前後で、令和3年度上半期(4月~9月)の実績は9千6百万円です。



退職のあいさつ

シルバー人材センターにお世話になって十七年になります。その間、皆様にはご指導とご協力を得て今日まで無事に勤める事が出来ました。会員の皆さんは、人生の大先輩ばかりですが、いつも無理難題を押付けても文句も言わず就業して頂いた事が思い出されます。今後のシルバー人材センターの御発展を願ってお別れの挨拶とします。有難うございました。

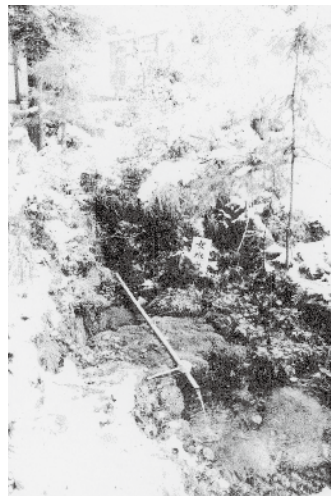
岡田 隆博
(前西城支所長)

庄原の昔話

⑩

一杯水の話

戸宇村の下郷というところの山のふもとに、一杯水というところがある。いまは雑草におおわれているが、むかしは東城から帝釈へ通じる大切な街道であった。その道のそばには今も大師堂が建っている。(最近では、昭和五十三年八月二十六日に再建された。)これからその大師堂が建てられたわけをお話ししよう。



むかし、その年は夏の日照りが何日も続き、田畑の作物は枯れてしまい、飲み水にも事欠く大干ばつだった。そこへ、諸国をめぐり歩いてきた弘法大師(空海七四七〜八三五年)が通りかかり、農家の老女に一杯の水をくれるようにたのんだ。老女は、なげなしの飲み水を竹筒に入れて、こころよくさしだした。

あとで大切な水であったことを知った大師は老女のところへひき返し、村人とともに裏山にむかって一心に念仏をとなえた。そして、持っていたつえを「エイツ」と地面につきたてると、ポツカリと穴があいて、そこからきれいな水がこんこんとわきだした。

その水のおかげで死をまぬがれた村人達は、泉のほとりにお堂を建て、大師を仏さまとしてまつたそう。

戦前までは「弘法の薬水」「弘法の一杯水」とよんで、お堂には無病息災、万病回復祈願の参拝者がたえず、境内には茶店が二〜三軒でるほどのにぎわいだったそう。

今も石灰岩の穴からわき出る水は、枯れる事もなく、はば五十センチばかりの溝をさらさらと流れ、下流の農家の飲料水や農業用水として利用されている。かつては、四十五分おきに多量の水がふき出し、直径一メートルあまりの池からあふれると、再び水量が減少し、また時間がくると水があふれ出す間欠泉だった。しかし、昭和四十七年七月の豪雨以後は、ふつうのわき水となってしまった。保健所の水質検査によると、ミネラルを多量に含んだ高級飲料水だということである。

(東城の民話を保存する会編「東城の民話」より)

脳し まちがいさがし

右の絵は左の絵とちがうところが全部で8個あります。見つけたら○で囲んでください。



編集後記

◆2022年はどんな年になるのでしょうか?今年の干支「壬寅」は、(冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れて、華々しく生まれる年)になることを表しているそうですよ。

昨年は、全国的に自然災害があり、新型コロナウイルス禍が続き、秋には台風による線状降水帯の集中豪雨など、新しい変化に苦渋を体験した年ともなりました。今年こそは、陽気を迎えて新しい春の動きが始まる年となるようお願いいたします。

◆昨年の厚生労働省の調べでは、百歳以上の長寿者の方が初めて8万6千人を上回って、昭和45年の310人から始まって以来、51年連続で増加しています。

「日本資本主義の父」と云われる渋沢栄一が残したとされる人生訓《四十、五十は、はなたれ小僧。六十、七十は、働き盛り。九十になって迎えが来たら、百まで待てと追い返せ。》が、現実味を帯びてくる時代となっています。

◆まだまだこれからです。皆さん、シルバーの諸活動を通じて、又、健康に気を付け毎日を過ごして、今年もがんばりましょう!

チェーンソー取扱講習

(10月26日～10月28日)



倒木等作業、チェーンソーに関する知識、チェーンソーの操作を座学・実習で学び資格取得をしました。



しめ飾り制作就業体験 (11月19日)



しめ縄同好会の会員による指導の下、お正月のしめ飾り作りを体験していただきました。



ボランティア活動 (10月16日) 10月の第3土曜日(シルバーの日)を中心に各地域でボランティア活動を行いました。



表紙の説明 しめ飾り制作就業体験

高齢者活躍人材確保育成事業の就業体験として実際にシルバー人材センターの仕事を体験し、しめ飾りを制作された参加者の皆さん